



つじ 隆一 市議員 議会活動報告

社民党仙台市議団

(TEL 214-8717
FAX 711-3453)

宮城野区版

NO. 101

〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ谷東2-5-24 TEL 251-4064 FAX 253-2588

2018. 10. 15 発行

事務所 〒983-0031 仙台市宮城野区小鶴1-1-18-101 TEL・FAX 252-9511 E-mail : fureai@lilac.plala.or.jp

2年目を迎えた郡市政

市民協働と「人とまち」
基本のまちづくりへ

8月22日で郡市政誕生から1年の節目を迎えました。35人以下学級の拡大、いじめ問題対策、子育て支援策の拡充など、「人とまちを育む」ことを基本とした政策が軌道に乗りつつあります。防災環境都市、地域経済の活性化、交流人口の拡大など課題が山積している中、2020年から10年間の仙台市総合計画の策定など、108万市民の負託に応えられる市政運営が問われています。

平成30年第3回 定例市議会報告

計25議案を審査

平成30年第3回仙台市議会
定例会は、9月4日から10月5日まで開かれ、平成29年度

一般会計等の決算認定をはじめ、計25件の議案審査を行いました。

一般会計の決算では、歳入は29年度より学校教職員の給与負担が県から市に移管されたことなどを要因として前年度比6.7%



本会議で一般質問を行う辻議員(9/13)

増の52.13億円、歳出は6.6%増の507.8億円となりました。歳入のうち、企業減税等を反映して法人市民税は2.2%減少したものの、人口増や新築家屋増などを反映して個人市民税が2.2%増となったため、トータルでは1%増の約91.3億円となり、固定資産税も2.6%(約18億円)伸びました。しかし、学校給食費や市立病院医療費など債権放棄の額は1億3000円を超し、市税



4月から『市政だより』の最終ページに登場するようになった郡市長のコーナー

コールセンターの整備へ

一般会計の補正予算については、鶴ヶ谷保育所及び吉成保育所の移転建替用地の取得費用、市民からの専門的ではない問い合わせ等に 대응するコールセンター(現在の代表電話・各課の直通電話は存続)整備のための債務負担行為の設定、自転車の安全利用のための啓発に要する経費、預かり保育推進のための補助金の追加、児童扶養手当支給費の

などの不納欠損額が前年度比29.2%増の6億4800万円となるなど、公平な税負担のあり方など課題が残りました。

また、財政の硬直化を示す経常収支比率など各財政指標は若干改善したものの、後年に交付税措置されるとは言えない市債である臨時財政対策債の増が市債発行額の12.6%増につながり、平成31年度から3年間で81.2億円の収支差が見込まれるなど、厳しい財政運営に直面していることには変わりはありません。

追加、次世代放射光施設の整備決定(東北大学青葉山新キャンパス)に伴う関連産業の活性化のための成長産業振興事業費の追加など、2億9400万円が計上されました。とくに、吉成保育所の移転問題では園庭への日照問題など、良好な保育環境が保障されるのかどうかなどに議論が集中しました。議案は全て可決成立しました。

自転車の安全利用に関する条例を制定

条例関係では、自転車の安全利用の推進に向けた基本理念を定め、市民及び自転車利用者等の責務、自転車損害賠償保険等への加入義務を定めた条例案が提案されました。

ただヘルメットの着用を努力義務に止めたことは残念です。また、向陽台保育所と根岸保育所長町分園の廃止（民営化）に関する児童福祉施設条例、岩切駅南口自転車等駐車場の設置（既存施設は北口駐車場に）、東日本大震災の被災者等の平成31年度の入学選抜手数料・入学金・授業料の減免措置に関する条例改正案等



自転車まつり(4/28)での安全教室

が上程されました。

その他の案件では、荒井小学校の校舎等及び七郷第二児童館新築工事に関する工事請

中小企業活性化支援策など つじ議員が一般質問

中小企業活性化基金の有効活用について

9月13日の本会議で一般質問を行いました。

まず、平成28年度から政策化された中小企業活性化基金充当事業(30億円)について、今年度も入れて全体の3分1程度しか活用されていない実態に対して、その使い勝手や企業者の意見反映がされてきたのかどうかを質したのに対し、「中小企業活性化会議で経済団体や経営者から意見を伺うなどしてきた。今年度からは商店街関係者の意見を踏まえた商店街同士の交流促進や集客力向上に資する事業を開始した」などと答えました。また、この基金活用にあたり、人材育成や地域課題解決

負契約締結に関する件、蒲生北部被災市街地復興土地区画整理事業施行地区の一部を民間事業者に売却するための財産の処分に関する件等が提案されました。



決算特別委の第1分科会で質疑を行うつじ議員

など、ソーシャルビジネスの育成を図るべきではないかと質したのに対しては、「子ども等の貧困対策や空き家の利活用などの分野で成果が現れてきている」「起業家や中小企業がビジネスの視点から社会問題の解決に取り組む環境を充実させていく」などと答弁しま

つじ隆一当面の主な行動予定

- 10. 19 経済環境委員会
- 10. 21 みやぎの区民まつり
- 10. 22 燕沢地域交通実験スタート
- 10. 25 交通政策調査特別委員会他都市視察 (~26、北九州市、山口市)
- 10. 31 交通政策調査特別委員会
- 11. 2 「石に刻んだ赤心」公演
- 11. 7 「朗読劇 線量計が鳴る」仙台公演
- 11. 12 経済環境委員会他都市視察(~14 浜松市、富山・高岡市)
- 11. 17 燕沢地区社協ふれあい食事会
- 11. 21 経済環境委員会
- 11. 23 ソキウスせんだい理事会
- 11. 28 第4回定例市議会議案説明
- 11. 29 仙台の夕べ(東京)
- 12. 3 交通政策調査特別委員会
- 12. 6 第4回定例市議会開会
- 12. 19 経済環境委員会
- 12. 21 第4回定例市議会閉会

した。また関連して、起業・雇用拡大については市役所全体で取り組むべきことについても指摘を行いました。注視しつつ、将来に向けたま

自治体行政のあり方に関する総務省報告を巡って ちづくりをの展望を描いていきたい」と答えました。

将来の自治体行政のあり方について、スリム化や効率化を提唱し、地方分権・自治に抵触するような内容となった、総務省の有識者による「自治体戦略2040構想研究会報告」の評価を求め、郡市長は「これからの都市経営には、厳しさが増す将来を見据えた持続可能なまちづくりの方向性を描いて、活力の創出や新たな魅力の構築が一層重要になるものと認識している。次

期総合計画などで国の動向を

注視しつつ、将来に向けたま

ちづくりをの展望を描いてい

きたい」と答えました。

その他、市長の市広報への

関わり方などについて取り上げました。

決算特別委でグループホーム支援拡充を求め

決算審査特別委員会の第一分科会では、健康福祉費において、障がい者のグループホームの空き情報の一元化やニーズ把握に取り組む事業者団体への支援策を求めました。

これに対して当局は、「多くの団体と連携を図り、現場の声をよく聞きながら、団体が必要とする支援について検討していききたい」と前向きな回答を行いました。

燕沢地区の地域交通

10月22日に試験運行がスタート!

燕沢地区の地域交通問題は、でも長年の課題でしたが、昨年夏に「燕沢交通問題検討会」を立ち上げ、運行ルートや停留所などの検討が進められてきました。

市は今年度から「みんなのでつくろう地域交通スタート支援事業」に取り組むことになり、地域交通の試験運行費用への助成制度が始まりました。燕沢の地域交通はこの助成事業活用の第一号でもあり、その事業展開に大きな期待が寄せられています。

7月には全世帯のアンケートを実施、9月には地域説明



試験運行への燕沢地区交通検討会(9/10)

会も行われました。10人乗りのジャンボタクシーで、名称は『のりあい・つばめ』と名付けられ、10月22日から1ヶ月間の試験運行に取り組みることになりました。

俳優 中村敦夫が書き下ろし、演じる
朗読劇 一幕四場
元原発技術者の独白

線量計が鳴る

○梗概
原発の町で生まれ育ち、原発で働き、そして原発事故ですべてを失った主人公の個人史。

○二幕
原発が作られ、日本に入ってきた事情、原発の仕組み、福島事故の真実。

○三幕
主人公のチェルノブイリ視察体験、視察による医学上の疑問と現実、放射線医学界の謎。

○四幕
原発を動かしている本物の理由、利益に群がる原子力カマフラの権威。

2018 11/7 (水)
18:00 開演 / 18:30 閉演 (19:30 終演予定)

宮城野区文化センター (全席自由 定員180名)
前売券: 2,000円 / 当日券: 2,500円 / 中学生: 1,000円 / 小学生以下無料

問い合わせ・電話予約: 080-9639-2691 (大阪) 070-5323-1939 (大石)
メール問い合わせ upath@akigama.jp (右岸の草履まで)

主催: 朗読劇「線量計が鳴る」仙台実行委員会
後援: 朝日新聞仙台総局 河北新報社 毎日新聞仙台支局

仙台公演実行委員長はつじ議員 (チケットはつじ事務所へ)

仙台市政運営及び 31年度予算要望を提出

社民党仙台市議団は、毎年翌年度の仙台市の予算編成時期に合わせて、市政運営及び予算に関する要望書を提出しています。

市政運営に関して95項目、予算関係で95項目、各区の政策75項目の計170項目にわたり、10月5日の第3回定例会最終日に郡市長宛に提出しました。詳しくは、社民党宮城県連合→社民党市議団のHPで。



郡市長へ要望書を手渡す社民党市議団

《主な政策要望―抜粋―》

◆条例制定について

- ・子どもの権利条例
- ・交通基本条例
- ・給付型奨学金条例
- ・公契約条例
- ・公文書管理条例 (公文書館)

◆市政運営について

- ・公正・適正な入札制度
- ・指定管理者制度の見直し
- ・会計年度任用職員制度は労働条件の改善になるように
- ・非正規雇用職員・外郭団体職員の待遇改善

◆市民生活に関して

- ・「非核平和都市」の宣言

《主な予算要望―抜粋―》

○人を育み人がつながるまち

《学校教育》

- ・35人以下学級の早期実現
- ・学校のエアコン早期整備
- ・老朽化した市立高校の改築
- ・特別支援学校の市内増設
- ・学校納付金の負担軽減策

《高齢者・障害者・子育て》

- ・地域包括ケアシステムへの支援策の強化
- ・放課後デイサービスの拡充
- ・障がい者のグループホーム
- ・事業への支援策拡充
- ・公的責任による保育行政の推進、待機児童の早期解消

《市民協働のまちづくり》

- ・女性の社会参画の推進
- ・世代間交流の促進
- ・コミセン等地域施設の改修
- ・危険なブロック塀の除去
- まちを育む、活カテデザイン

《都市インフラの整備》

- ・狭隘市道の拡幅整備
- ・効果的な除雪融雪対策
- ・バス路線の維持、公共交通及び地域交通のあり方
- ・水道・ガス事業の直営堅持

《経済・観光・農業》

- ・ブラック企業対策、若年者等への就労支援策の強化
- ・観光サイン整備、多言語表記、中心部観光バス駐車場
- ・仙台ブランド農産物促進
- ・有害鳥獣対策強化

○次世代へつなぐ、防災環境

都市

《震災復興・防災》

- ・復興基金等の有効活用
- ・市民防災センターの整備

《環境都市づくり》

- ・事業系ごみの減量対策
- ・クリーン電力の購入促進
- ・再生可能エネルギーの促進
- ・新発電装置等への補助拡大
- ・環境学習センターの整備
- 都市の活力と財源の確立

- ・特別自治市実現を
- ・臨時財政対策債の廃止

つじ隆一の活動日誌

- 7. 4 交通政策調査特別委員会
- 7. 5 社民党市議団他都市視察（～7、川崎市、足立区、板橋区）
- 7. 7 より良い仙台をめざす宮城野区民の会「市政・県政報告会」
- 7. 8 海岸公園完成式、子どもの教育を語り合う市民みんなのホームルーム
- 7.10 市議会いじめ問題調査特別委員会
- 7.11 佐高信政治塾
- 7.14 市学校職員労働組合定期総会
- 7.16 宮城県原爆死亡者追悼平和記念式典
- 7.18 第2回燕沢地区交通検討会、宮城野区納涼名刺交換会
- 7.19 市議会いじめ問題調査特別委員会、市労連政策委員会
- 7.20 市民教育委員会
- 7.21 社明運動東仙台地区推進委員会総会
- 7.24 第1回燕沢地区社協理事会
- 7.29 燕沢学区区民まつり
- 7.30 佐高信政治塾
- 8. 4 市交通退職者会総会、新田学区盆踊り大会
- 8. 5 燕沢学区区民まつり反省会
- 8. 6 第3回燕沢地区交通検討会
- 8.11 燕沢東部・小鶴北部町内会盆踊り大会
- 8.18 菖蒲沢町内会盆踊り大会
- 8.19 鹿児島県始良市防災シンポジウム
- 8.21 市民教育委員会、燕沢小学校大規模改修地元説明会
- 8.22 宮城野シルバークフェスティバル
- 8.23 第2回仙台市共同募金委員会理事会
- 8.24 交通政策調査特別委員会、市職労中高年部定期総会、特養ホームパルシア・テラスパティ
- 8.25 ソキウスせんだい理事会
- 8.26 社民党県連合自治体議員団研修会
- 8.28 第3回定例市議会議案説明
- 8.29 全水道仙台定期大会・佐高信政治塾
- 8.30 学校給食現場視察（高森中）
- 8.31 第1回宮城野区地域福祉団体懇談会
- 9. 1 鹿児島県人会の墓参・交流会
- 9. 2 宮城野消防団特別点検
- 9. 4 平成29年第3回定例市議会開会
- 9. 5 仙台市社会福祉大会
- 9. 6 第2回燕沢地区社協理事会
- 9. 8 みなとオアシス仙台港登録証授与式
- 9.10 本会議（～14日）、第4回燕沢地区交通検討会
- 9.13 本会議で一般質問
- 9.14 特養ホームパルシア敬老祝賀会、開園20周年記念式典
- 9.15 燕沢学区各町内会敬老会（～17日）
- 9.18 経済環境委員会
- 9.19 仙台市職員労働組合定期大会
決算等審査特別委員会（～10/4）
- 9.23 社民党市議団政策・19年度予算要望検討会
- 9.24 燕沢学区文化復興会演芸大会
- 9.26 消費者の生活と権利を守る生協組合員集会
- 9.29 より良い仙台をめざす宮城野区民の会
- 10.1 市議会いじめ問題調査特別委員会
- 10.5 平成29年第3回定例市議会開会



◆学校給食現場を視察◆
学校教室等へのエアコン設置が議論されている中、8月30日、社民党市議団3名で、市立高森中の学校給食現場を

視察しました。気温は28度、湿度は80%を超えるという過酷な環境の中の調理から洗浄までの一連の作業を身近で体験しました。大規模改修の燕沢小ではドライ化とエアコン整備が進められます。

◆始良市防災シンポに参加◆

8月19日、鹿児島県始良（あいら）市で「防災シンポジウム」が開催され、奥山前市長とともに参加しました。桜島の北部は始良カルデラと言われ、噴火の危険性も指摘されています。始良市は東日本大震災の年の仙台七夕に日

その他の主な活動

本一の志宗竹と子どもたちの復興への願いを入めた短冊3千枚を届けた縁がありました。



社民党市議団で他都市視察を実施

7月4～6日、社民党市議団で他都市視察を行いました。4日には東京有明地区の国営東京臨海広域防災公園、防災体験学習「そなエリア」を視察し、5日には川崎市の



音楽ホール「カルッツかわさき」及び東京都板橋区の「公文書館」の設置と活用、6日には仙台市も条例化を進めている自転車の安全利用に関する、足立区の「自転車条例」の進化について学びました。

